

一般質問(要旨)

高橋 清治

市施設の 防犯対策について

問 学校の安全・防犯対策の①基本的な考え方は②防犯機器導入の現状とこれからの予定は③防犯上、校舎の構造的問題は④防犯上、校舎の構造的問題は⑤防犯上、校舎の構造的問題は⑥防犯上、校舎の構造的問題は⑦防犯上、校舎の構造的問題は⑧防犯上、校舎の構造的問題は⑨防犯上、校舎の構造的問題は⑩防犯上、校舎の構造的問題は⑪防犯上、校舎の構造的問題は⑫防犯上、校舎の構造的問題は⑬防犯上、校舎の構造的問題は⑭防犯上、校舎の構造的問題は⑮防犯上、校舎の構造的問題は⑯防犯上、校舎の構造的問題は⑰防犯上、校舎の構造的問題は⑱防犯上、校舎の構造的問題は⑲防犯上、校舎の構造的問題は⑳防犯上、校舎の構造的問題は㉑防犯上、校舎の構造的問題は㉒防犯上、校舎の構造的問題は㉓防犯上、校舎の構造的問題は㉔防犯上、校舎の構造的問題は㉕防犯上、校舎の構造的問題は㉖防犯上、校舎の構造的問題は㉗防犯上、校舎の構造的問題は㉘防犯上、校舎の構造的問題は㉙防犯上、校舎の構造的問題は㉚防犯上、校舎の構造的問題は㉛防犯上、校舎の構造的問題は㉜防犯上、校舎の構造的問題は㉝防犯上、校舎の構造的問題は㉞防犯上、校舎の構造的問題は㉟防犯上、校舎の構造的問題は㊱防犯上、校舎の構造的問題は㊲防犯上、校舎の構造的問題は㊳防犯上、校舎の構造的問題は㊴防犯上、校舎の構造的問題は㊵防犯上、校舎の構造的問題は㊶防犯上、校舎の構造的問題は㊷防犯上、校舎の構造的問題は㊸防犯上、校舎の構造的問題は㊹防犯上、校舎の構造的問題は㊺防犯上、校舎の構造的問題は㊻防犯上、校舎の構造的問題は㊼防犯上、校舎の構造的問題は㊽防犯上、校舎の構造的問題は㊾防犯上、校舎の構造的問題は㊿防犯上、校舎の構造的問題は

答 ①狭隘道路の整備については、地権者やライフライン等の各企業の協力を得ながら整備を進めている。②予算を確保することは難しく、財政状況が好転するまでは事業規模を縮小せざるを得ないと考える。③都の補助金を活用していきたい。④水路敷は社会情勢等で変化したが、道路利用が必要となれば柔軟に対応したい。

井上 城治

市長の「政治姿勢」について

問 ①一部受益者負担の導入や補助金検討委員会の中間報告を踏まえた補助金の見直しなど、市民の皆様と多大な協力をお願いする」とあるが、緊急行動計画は市民の負担の上になり立っているのか。②緊急行動計画に「だれもが健康で文化的な最低限の生活を営めるよう行政としての責務をはたす」とあるが、どういうことか。

答 ①財源を確保するため、退職者不補充、職員定数の削減、委託の見直しや人件費等を含め庁内努力をしている。それだけでは歳入不足を補うことができないので、事業の縮小や負担増などをお願いしていく。②市民に負担増等をお願いする中でも、健康で文化的な最低限の生活を営めるよう、可能な努力をするということである。

鈴木 利一

市道の整備及び 管理について

問 道路整備については通学路及び幹線道路を中心に歩行者の安全と障がい者など、だれにでも優しい道づくりを基本に市内の道路整備が進んでいるが、未整備の箇所が幾つかあるので、これらの市の取り組みについて伺う。

答 未整備道路の維持・管理は、道路パトロールや日常業務の中で市内の見廻り、また、苦情処理や補修時に他の道路の状況を把握して補修を要する箇所は整備している。また、カーブミラーや標識等についても巡回を行っている。

栗山 欽行

一 中学校教科書選定の年一公正かつ適正な教科書採択について

問 ①教科書採択の責任と権限はどこにあるか②採択に際しては教科書選定協議会が設置されている。開催時間・回数③最終判断を下す教育委員がすべての教科書に目を通すことができないとの主張がある。採択に際し、市教委は何回審議したか。また、審議時間は④副読本・授業で使用する配布資料はどのように確認されているか。

答 ①教科書採択の職権限は教育委員会にある。②教科書選定協議会は各2時間程度3回。③合計2回。④社会科副読本は、編集委員会で作成。体育は体育主任会、道徳は道徳研究協議会の答申をもとに選定。教科書は届け出。

京都議定書発効・ 狛江市の温暖化防止 (CO2削減)対策は

問 ①京都議定書・狛江市の基本認識は②目標達成には民生部門のCO2削減が不可欠とされている。狛江市の現状は③庁舎内外の温室効果ガス排出量の現状は④行政が行う施策のひとつに新エネルギーの導入促進がある。太陽光発電・家庭用燃料電池等の助成制度の創設が必要と考える。助成制度創設の検討はできないか。

答 ①地域から地球温暖化防止の機運が高まるよう鋭意働きかけていく必要がある。②CO2の排出量は平成2年と14年を比較すると1.26倍で年々増加の一途をたどっている。③CO2の排出量は平成13年と15年と比較すると1.34%削減している。④助成制度は今後総合的に研究する。

に反映されたものはあるか。
答 ①そのように考える。②「市長と語る会」や「各市民説明会」の参加者を集計すると830名から840名位。③100件前後の意見が述べられている。例えば住民票の閲覧手数料の引き上げや広告の活用については一部予算に計上している。できるものは引き続き検討していく。

一 中・四中の統合計画 中学校給食について

問 ①生徒数の将来推計をみると、当初の予想のような減少は見られない。教育的観点からみれば第一中学校と第四中学校を統合しなければならぬ強い事情はなくなってきたのではないか。②社会環境などの変化を考えると、中学校給食はやはり必要。どういう段取りと方法で中学校給食を実施していくのか。

答 ①当時とは教育環境は急速に変化しているのは事実。統合方針をすぐに変えるというものではないが、現状分析、論点の整理など教育委員会とともに検討・総合調整していく。②スクールランチ方式で実施する考え。順次施設改修を進めるが、それまでの間弁当給食の部分を先行実施する。

交通安全対策について

問 和泉多摩川駅南のバス通りとパークハイム前道路の交差点の交通量を調査したが、朝の1時間で335人の歩行者と614台の車が行き交い、世田谷通りからの車の4分の3がパークハイム前道路に進入してくる。ここに信号機と横断歩道を設置するとともに、朝夕は右折禁止にしてパークハイム前道路への進入を防げないか。

答 信号機と横断歩道の設置は以前から要望しているが実現に至っていない状況である。パークハイム前の道路を時間制限付きで右折禁止等にすることは想定していなかったが、その通行量を減少させるためには都市計画道路をスムーズに通行できるような信号機の連動問題も調布警察署に検討をお願いしていきたい。

田辺 良彦

自立した魅力ある 都市として発展していくために

問 ①国の「三位一体改革」の影響による17年度の財源不足は、15年度と比べると、8・8億円程度と考えると、②緊急行動計画にかかわる市民説明会等の延べ参加者は何名か。③「市長と語る会」で寄せられた市民からの意見の中で予算案

に反映されたものはあるか。
答 ①そのように考える。②「市長と語る会」や「各市民説明会」の参加者を集計すると830名から840名位。③100件前後の意見が述べられている。例えば住民票の閲覧手数料の引き上げや広告の活用については一部予算に計上している。できるものは引き続き検討していく。

鈴木 えつお

地震による被害を 最小限にいとめる ために

問 ①板橋区などで実施されている木造住宅の簡易耐震診断②学校施設の耐震化の現

状と今後の計画③災害弱者の登録制度の創設と防災マニュアルの作成④消防団器具置き場の現状と今後の改築計画⑤消防団活動の現状と課題、特に団員確保のための公募制度導入⑥防災学校の開設など防災会活動の強化について伺う。

答 ①財政上から難しい②本年度で和泉小を除く小学校の校舎を完了。年次計画を立てて順次耐震化③早い時期に検討する④用地の確保後、順次建て替え⑤人員の確保が困難。公募は今後の課題とした。⑥防犯協会、防火協会等が消防署の指導のもと訓練をしている。ボランティア養成については効果的な方法を検討していきたい。

道路行政について

問 ①市内には狭隘道路が多く存在し、防災的にも心配だ。市道整備の遅れをどう認識するか②財政難下、道路予算が減少している。これからの予

算手当てはどうする。国や都の制度活用を考えるべき③水路敷の活用を現地の状況に合わせて考えるべき。

答 ①絶対的安全策はなく、総合的対策が必要②刺股を購入③構造上の問題はある。緑野小学校は職員室が見えるオープン式にするなど死角を減らした④計画的に行っている⑤学校巡回員を募集⑥警察への緊急通報システムを設置。こまえ苑は受付簿で入退苑チェック。保育園は門扉の施錠やインターホンと防犯ブザーで対応。

問 ①財源を確保するため、退職者不補充、職員定数の削減、委託の見直しや人件費等を含め庁内努力をしている。それだけでは歳入不足を補うことができないので、事業の縮小や負担増などをお願いしていく。②市民に負担増等をお願いする中でも、健康で文化的な最低限の生活を営めるよう、可能な努力をするということである。

答 ①財源を確保するため、退職者不補充、職員定数の削減、委託の見直しや人件費等を含め庁内努力をしている。それだけでは歳入不足を補うことができないので、事業の縮小や負担増などをお願いしていく。②市民に負担増等をお願いする中でも、健康で文化的な最低限の生活を営めるよう、可能な努力をするということである。

須田 繁美

介護保険全般と、在宅介護と老人ホームの現状と将来について

問 ①狛江市の保険料は他市と比較し適正か。またどのような推移を考えているのか。

答 未整備道路の維持・管理は、道路パトロールや日常業務の中で市内の見廻り、また、苦情処理や補修時に他の道路の状況を把握して補修を要する箇所は整備している。また、カーブミラーや標識等についても巡回を行っている。